

第19期 中間報告書

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日



代表取締役社長

丸井 武士

Top Message

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より「サクサグループ」に対しまして、格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社第19期第2四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年9月30日まで)における事業の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様のご期待にお応えするため、なお一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご支援、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

当第2四半期連結累計期間の概況について

当第2四半期連結累計期間のわが国の経済は、変異株による感染拡大の懸念など、依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受けており、緊急事態宣言の期間延長などに伴う経済活動の抑制により厳しい環境が続いているものの、国内外ではワクチン接種の普及により活動制限は徐々に緩和され、各種政策の効果や海外経済の改善もあり一部で持ち直しの動きがみられました。しかしながら、長引くコロナ禍で先行きは不透明であり、今後も厳しい状況が続くものと予想されます。

また、当企業グループにおいては、世界的な半導体不足や東南アジアでの新型コロナウイルス感染症拡大に伴うサプライチェーンの不安定な状況による生産活動の遅れと販売機会損失に加え、調達価格の高騰による事業活動への影響がありました。

このような経済環境の中で、当企業グループは、2021年6月に2021年度から2023年度の3か年を計画期間とした中期経営計画(サクサは変わる。)を公表し、2026年3月期には、売上高400億円、営業利益25億円、ROE6.5%以上を長期目標に、3つの戦略「事業を変える。」「財務を変える。」「ガバナンスを変える。」を掲げ、始動しました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、14,026百万円(前年同四半期は16,713百万円)となりました。売上高のう

ち、成長事業の売上高は、4,481百万円(前年同四半期は4,548百万円)となり、コロナ禍に伴う働き方改革を追い風に、SIビジネスの販売増加はありましたが、資材および部品の調達難によるITビジネスおよびビジュアルソリューションの販売減少となりました。一方、基盤事業の売上高は、9,545百万円(前年同四半期は12,165百万円)となり、主に、資材および部品の調達難によるボタン電話装置の販売減少に加え、コロナ禍に伴う市場環境変化により、アミューズメント市場向けの製品および加工受託している部品の受注が減少しました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は1,703百万円減少しており、成長事業の売上高は255百万円、基盤事業の売上高は1,448百万円それぞれ減少しております。

利益面では、資材および部品の調達価格の高騰に伴う材料費増加に加え、前期から取組んでいる不適切な会計処理に対応した改善措置実行費用、監査報酬等の増加により、経常損失が305百万円(前年同四半期は経常利益601百万円)、投資有価証券売却益447百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、139百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,161百万円)となりました。

サクサは変わる。

事業戦略 事業を変える。

基盤事業の収益維持
成長事業の収益拡大
アライアンス／M&A戦略

財務戦略 財務を変える。

政策保有株式の原則売却
保有不動産の流動化・収益化
財務レバレッジを効かせる

ガバナンス戦略 ガバナンスを変える。

コーポレートガバナンス改革
グループ企業の再編

企業理念・ビジョン・コーポレートメッセージ 貢献するSDGs



当第2四半期連結累計期間

事業戦略 「事業を変える。」

- ・DXサービス第一弾の「cocoem. (ココエム)」の発売開始
- ・「SAXA-DX Navi」Webサイトオープン
- ・入退場車両ナンバー管理システムを共同開発
- ・セキュリティアプライアンス新製品「SS7000」の発売開始
- ・基幹システム刷新による経営基盤の強化

財務戦略 「財務を変える。」

- ・政策保有株式6.3億円を売却。売却益4.5億円を計上
- ・相模原（54千㎡）、那須塩原（58千㎡）、矢板（4千㎡）の所有不動産の流動化・収益化に向けた入札プロセスを10月中旬より開始

ガバナンス戦略 「ガバナンスを変える。」

- ・2021年6月改訂のCGコードへの取組み
 - ・指名・報酬委員会を設置し活動推進
 - ・IR室を設置し適切な情報開示・株主との対話強化に向けた活動推進
- ・ESG・SDGs達成に向けた取組みをスタート

経営目標数値

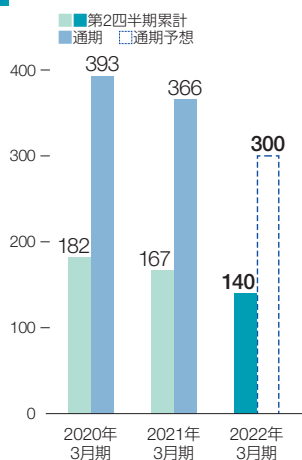
（単位：億円）

	中期経営計画		長期目標
	2023年3月期	2024年3月期	2026年3月期
売上高	335	355	400
営業利益	10	18	25
ROE	3.0%	5.2%	6.5%以上

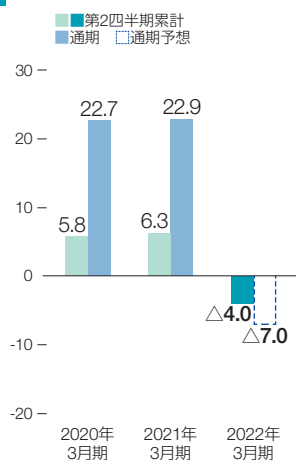
連結財務ハイライト

	前第2四半期累計 (2021年3月期)	当第2四半期累計 (2022年3月期)
売上高	(百万円) 16,713	14,026
営業利益	(百万円) 634	△400
経常利益	(百万円) 601	△305
親会社株主に帰属する四半期純利益	(百万円) △1,161	139
1株当たり四半期純利益	(円) △198.85	23.86
1株当たり純資産	(円) 3,640	3,901

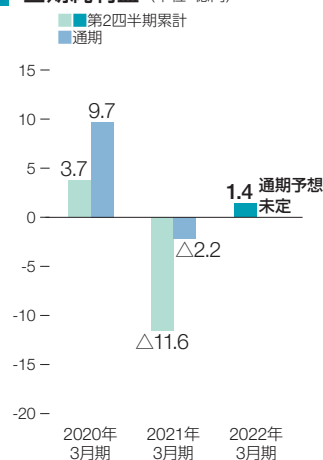
売上高 (単位: 億円)



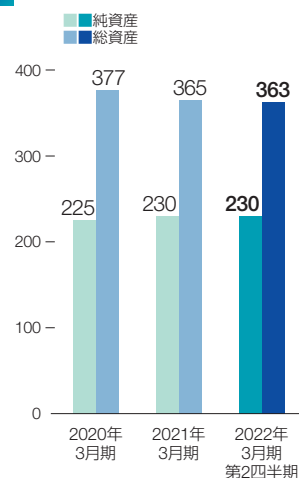
営業利益 (単位: 億円)



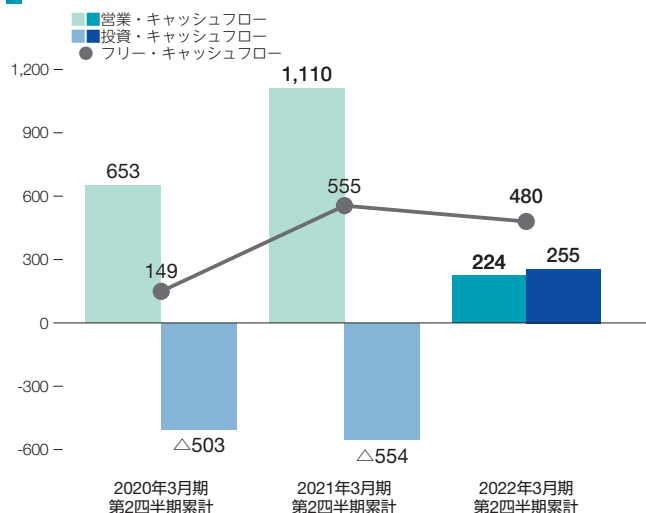
親会社株主に帰属する
当期純利益 (単位: 億円)



純資産/総資産 (単位: 億円)



フリー・キャッシュフローの状況 (単位: 百万円)



連結貸借対照表 (単位: 百万円)

流動資産 21,523	流動負債 9,200
固定資産 14,959	固定負債 4,249
資産合計 36,483	負債純資産合計 36,483
純資産 23,033	

流動資産 21,665	流動負債 8,700
固定資産 14,596	固定負債 4,582
資産合計 36,261	負債純資産合計 36,261
	純資産 22,978

前期(2021年3月31日現在)

当第2四半期(2021年9月30日現在)

<https://www.saxa.co.jp/>



IRサイトのご紹介

サクサホールディングス IR情報
<https://www.saxa.co.jp/ir/>

サクサホールディングス IR

検索



「SAXA-DX Navi」Webサイトオープン

～中堅・中小企業が抱えるお悩みを解決、タイムリーな価値提供を実現～



■「SAXA-DX Navi」URL

https://www.saxa.co.jp/saxa-dx_navi/

サクサグループのプロダクト事業中核会社であるサクサ株式会社は、10月4日に多くの中堅・中小企業が抱えている課題に対して解決策を発信するWebサイト「SAXA-DX Navi」をコーポレートサイト内にオープンしましたのでお知らせいたします。

「SAXA-DX Navi」は、多くの中堅・中小企業が抱えている「IT人材不足」「働き方改革」「売上拡大」といった課題に対して、一歩踏み込んだ解決策を発信するサイトです。未来を見据えて経営の舵取りをしている経営層や各部門の次世代リーダーに向けて、課題解決の行動につながる情報を提供し、変化に強い企業へのイノベーションに貢献いたします。

■特長

1 経営課題トレンド

中堅・中小企業経営課題と解決策の時事ネタを紹介

2 課題解決ケーススタディ

中堅・中小企業の業務課題と具体的な解決策を紹介

3 課題の認知

自社の状況・課題を現状診断ツールを使った簡易診断が可能

4 市場情報の展開

ウェビナーやホワイトペーパーを通じて、市場情報を紹介(予定)

システム・ケイとアート、入退場車両ナンバー管理システムを共同開発

サクサグループのソリューション事業中核会社である株式会社システム・ケイ(以下「システム・ケイ」という。)は、株式会社アート(本社：東京都品川区 代表取締役社長 関本祥文、以下「アート」という。)と、車両ナンバー認識システムと入退室管理システムが連携した入退場車両ナンバーシステム「ZENESCAN NUMBER(ゼネスキャンナンバー)」を共同開発し、2022年2月から販売を開始する予定です。

■特長

入退場車両ナンバーシステム「ZENESCAN NUMBER(ゼネスキャンナンバー)」は、システム・ケイが開発した車両認識率99.5%(※)、認識スピード画像1枚あたり0.6秒の業界トップクラスの認識率、かつ高速認識を実現した車両ナンバー認識エンジンとアートの40年にわたる実績のある入退室管理システムの連携により、車両ナンバーを登録するだけで車両の入退場を簡単に管理することができます。
※自社調べ

1 入退場を簡単管理

駐車場等のゲート前に設置したネットワークカメラで車両のナンバープレートを自動で読み取り、事前登録された車両ナンバーであればゲートを開いたり、タイムスケジュール設定により車両の入場可能な時間帯を細かくコントロール可能です。

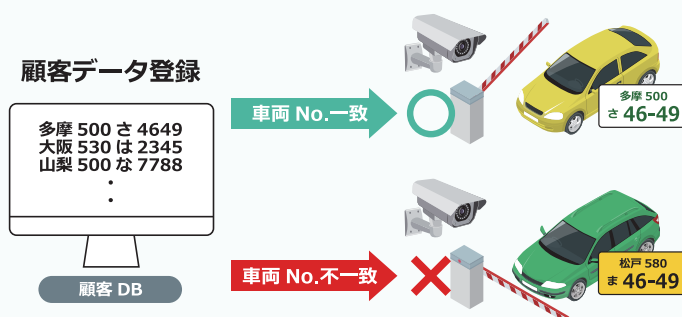
2 豊富なラインアップの中からカメラを選定

AXIS、CanonおよびSONY製のネットワークカメラに対応し、豊富なラインアップの中から選定できるほか、既設のカメラもそのまま流用することが可能です。また、夜間など暗い環境においても赤外線投光器を併用することで対応可能です。

■今後の展開

今回提供を開始する「ZENESCAN NUMBER(ゼネスキャンナンバー)」に続き、両社の共同開発プロジェクト第二弾として、システム・ケイの顔認証技術とアートの入退室管理システムを連携し、ネットワークカメラで顔画像を読み取り認識するシステム、入退室顔認証システム「ZENESCAN PERSON(ゼネスキャンパーソン)」を開発中です。

車両ナンバーを登録するだけで車両の入退場を管理できる



サクサ、企業の経営課題である健康経営や働き方改革に即した従業員のメンタルヘルスカを支援するサービス「cocoem.(ココエム)」を提供開始 ～「SAXA-DX サービスプラットフォーム」サービス第一弾～

サクサ株式会社は、中期経営計画(2021-2023)で掲げた「SAXA-DX サービスプラットフォーム」の第一弾サービスとして、メンタルヘルスカサービス「cocoem.(ココエム)」のサービスを開始いたしました。



■ サービス概要



「cocoem.(ココエム)」は、日々の脳疲労・ストレスを定量的に見える化し、改善提案を促す「メンタルヘルスカ」サービスです。従来のメンタルヘルスカマネジメントは、問診ベースのストレスチェックが主流ですが、意図的な回答や測定に時間を要することから、日々のメンタルヘルスカマネジメントには適していないといった課題があります。

「cocoem.(ココエム)」は就業中に触れるセンサー付きマウスやスマートフォンのカメラから脳疲労・ストレスの測定を行い、測定結果や従業員の属性に合わせた改善提案を行うことで従来の課題を解決します。

■ 特長

- 1 センサー付きマウスとスマートフォンアプリで脈波を測定**
PCマウスに「脈拍センサー」を装備、「脈拍センサー・スマートフォンアプリ」を使っていつでもどこでも測定可能
- 2 独自のアルゴリズムで脈波から脳疲労・ストレスを分析**
精度の高さにこだわった分析アルゴリズムを脳疲労・ストレスの専門家とともに共同開発
- 3 自分の脳疲労・ストレス状態を細かくチェック**
分析されたデータは、「マイページ」でグラフィカルに表現
- 4 個々の状態に合わせた行動変容を促進**
ユーザーの状態に合わせた改善提案を「マイページ」に掲載

■ 「cocoem.(ココエム)」課題解決アプローチ

「cocoem.(ココエム)」で得られるデータと企業内に蓄積された人事労務情報と組み合わせることで、従業員の心身の状態を新しい重要指標として予兆発見や改善施策に役立てることができ、従業員が健康の問題を抱えつつ仕事を行っている状態の改善や企業の生産性向上や健康経営に貢献してまいります。

さらに、「cocoem.(ココエム)」サービスに共感するパートナーと連携することで、利用シーンに合わせ提供範囲を拡大してまいります。

■ 「cocoem.(ココエム)」URL

<https://www.saxa.co.jp/product/cocoem/solution/>

■ 会社の概要

設立年月日	2004年2月2日
資本金	10,836,678,400円
従業員数	1,127名(連結)、35名(単独)
本社	東京都港区白金一丁目17番3号 NBF プラチナタワー
事業内容	情報通信システムの機器および部品の開発、製造 および販売を主として行う子会社の経営管理等

■ 取締役および監査役

代表取締役社長	丸井 武士	常勤監査役	嶋中 健
取締役	市川 修	監査役	和田 聡
取締役	上田 康夫	社外監査役	清水 建成
取締役	小林 俊夫	社外監査役	高口 洋士
社外取締役	片桐勇一郎		
社外取締役	栗林 勉		
社外取締役	越野 純子		

■ グループ会社

サクサ株式会社 (東京都港区)
サクサプレジジョン株式会社 (東京都新宿区)
サクサビジネスシステム株式会社 (東京都品川区)
サクサテクノ株式会社 (山形県米沢市)
サクサシステムエンジニアリング株式会社 (青森県八戸市)
サクサシステムアメージング株式会社 (東京都新宿区)
株式会社システム・ケイ (北海道札幌市)
サクサプロアシスト株式会社 (神奈川県相模原市)

■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
期末配当の基準日	3月31日	
定時株主総会	6月	
基準日	3月31日 その他、必要があるときは、あらかじめ公告して定める日とします。	
公告掲載URL	https://www.saxa.co.jp/ ※ 当社の公告の方法は、電子公告としております。ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払		みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店

■ 株式の状況

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	6,244,962株
株主数	4,484名

■ 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
沖電気工業株式会社	814	13.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	555	9.5
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LIMITED - HONG KONG PRIVATE BANKING DIVISION CLIENT A / C 8028-394841	317	5.4
株式会社グローセル	236	4.0
株式会社みずほ銀行	233	4.0
株式会社三井住友銀行	176	3.0
水元 公仁	169	2.9
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	143	2.5
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	143	2.5
サクサグループ従業員持株会	113	1.9

※1. 当社は、自己株式404千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
※2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。
※3. 沖電気工業株式会社の持株数には、沖電気工業株式会社が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式605千株を含んでおります。
※4. 株式会社みずほ銀行の持株数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式177千株を含んでおります。
※5. 持株数については、表示単位未満を切り捨てて表示し、持株比率については、表示単位未満を四捨五入して表示しております。

■ 所有者別分布状況

